

財団法人協調會大阪支所

# 脱退聲明書

## 理由

社會民衆黨第四回全國大會は無産政黨の階級性を放棄し幹部の爲したる階級的裏切行爲を公認して立憲の精神を冒瀆し、一切の言論を抑壓封鎖して民主主義の眞髓に反逆したるを以つて、吾等は無産政黨の階級的生命を死守する爲にこゝに脱黨を聲明す

我等が社民黨の結成に参加し、その發展の爲不斷の闘争を續けて来たのは社民黨が資本主義現段階の狀態に最も適合してゐるからである。従つて階級的展開を妨ぐる既成政黨を根本より粉碎し、以つて抑壓せられた民衆の生活を解放し、他方社會進化の過程を無視する左翼勢力を驅逐する事に専心努力した。然るに今や吾等は愛黨の精神に燃えつゝ、も涙を振つて脱黨するの止むなきに到つた事情を全國の同志諸君に訴ふるものである。我等所謂「大阪問題」に關し幾ら労働總同盟の犯したる左翼諸君の英名に隨ひて同志諸君に訴ふるものである。幹部の獨裁的野望の遂成を再び繰り返さざらん事を恐れ、純理と實踐に基き大衆的熱望に照應する解決をなすべく全力を挙げて不協勢力の克服に努力した。然るに何ぞ！ 第四回大會に於ける總同盟幹部の指導に依る「所謂「大阪問題」の解決に當つて幹部は口を飾りて愛黨互諒の精神を強調されたが、果してその實態を表現したものであらうか。全國同盟に對しては黨員八名を處分せしめ、その行動について陳謝せしめ、苛酷なる陳謝方法を強制したるに對し、總同盟に對しては何を陳謝せしめたか。こゝは畢竟總同盟幹部の不協勢力に抑壓せられた結果ではなかつたか。民主主義は根本から損なわれ、黨の階級的精神は、總同盟の不協勢力に裏切られたのではないか。

二、黨幹部の二三の者(現總同盟幹部)が遠般の選挙に於いて自ら指導する労働組合の組織を有する上場の高額な選挙費用を收受するもこれを以つて「階級的裏切行爲」に非ざる公認するが如きは暴断も甚しきものにして、階級政黨である社會民衆黨は、此時既に名實共に完全なる自殺を遂げたものと信ずるのである。斯くて今や選挙もあつた、ある政民兩黨の疑獄事件の本質は何等異なる所がないではないか。否を致労働者を直接犠牲に供する點に於いては「階級主義」の眞實なるものと言ふべきである。

三、我等は前項階級的裏切行爲の是非を大會に於いて全國選出代議員大衆の討論に付せんとした。然るに大會に於いては、我等の最も排撃せる政友會の「軍隊兵衛」の議會に於いてなしたる改善に依つて、一切の實の大會の意義があり、無産黨としての實があるのか。政友會、民政黨の反動的功利的既成政黨の行動よりの他政黨に迫るべきである。或は滿天下の労働階級がその解放の爲め唯一無二の政黨に爲つたならば、その階級性を放棄したる以上、階級政黨としての使命を遂げざるを得ない。